

令和 6 年度第 7 回立川市生涯学習推進審議会 会議録（案）

開催日時 令和 6 年 12 月 16 日（月曜日）午後 6 時 30 分～午後 8 時 30 分

開催場所 立川市役所 2 階 210 会議室

出席者 [委 員] 倉持 伸江 会長 檜崎 茂彌 副会長 大槇 正則 委員
柴 香里 委員 梅田 茂之 委員 竹内 英子 委員
難波 敦子 委員 宮本 直樹 委員 来住野 清子 委員
岩元 喜代子 委員 杉浦 早苗 委員

[事務局] 立川市生涯学習推進センター長 庄司 康洋
同 管理係長 加藤 暁子
同 生涯学習係長 海野 仁
同 市民交流大学係長 牧野 三枝子
同 管理係員 大須賀 雄大（記）

傍聴 0 名

- 次第
1. 開会
 2. 会長挨拶
 3. 報告事項
 - (1) たちかわ市民交流大学企画運営委員会の会議録について
 4. 協議事項
 - (1) 令和 6 年度第 6 回立川市生涯学習推進審議会 会議録について
 - (2) 立川市第 7 次生涯学習推進計画策定に向けた答申案の検討について
 5. その他
 - (1) 令和 6 年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会について（共有）
 - (2) 次回の開催場所について

- 配付資料
1. 令和 6 年度第 2 回たちかわ市民交流大学企画運営委員会議事概要
 2. 令和 6 年度第 6 回立川市生涯学習推進審議会 会議録（案）
 3. 立川市第 7 次生涯学習推進計画における振興方策について（答申）

会議内容

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 報告事項
 - (1) たちかわ市民交流大学企画運営委員会の会議録について
（会 長）A 委員より説明をお願いいたします。
（A 委員）資料 1 をご覧ください。今年度第 2 回目のたちかわ市民交流大学企画運営委員会の議事概要でございます。まず報告事項を各委員から報告いただいて、情報交換を行っております。1 枚めくっていただいて 2 ページ下段に 8 月 29 日の生涯審

を傍聴した委員からの報告もあります。もう 1 枚めくっていただき、4 ページ中段、(2)事務局からの報告というところで生涯審の議事内容が報告されています。5 ページ目の一番下から 6 ページにかけては、市民交流大学の事業の令和 5 年度の振り返り、まとめの審議をしているところです。7 ページに記載がありますが、11 月 5 日にも開催し、令和 5 年度の事業のまとめを行っております。そのまとめの結果が、配布しております『『きらり・たちかわ』活動の記録』に載っております。16 ページのところに令和 5 年度のまとめとして取組状況や成果と課題がございます。次回は、12 月 17 日に企画運営委員会を行いまして、その際には今日確定するであろう答申を配らせていただいて皆さんにも把握していただきたいと考えております。

(会 長) ありがとうございます。皆さんから何かご質問等ございますでしょうか。(なし)
令和 5 年度の成果と課題のところで、何か大きく改善が求められている部分はありましたでしょうか。

(A 委員) 私の印象としては令和 5 年度は、そんなに大きく遅れているとか、大きく変わったとかいうことはなくて、順調に進んでいるというのが全体的な印象かと思いますが、係長から何かありますか。

(事務局・市民交流大学係長) 令和 5 年度に関しましては A 委員からご説明がありました通り、特に大きな問題とか遅れているということはない印象です。ただ、令和 6 年度に取組事項 12 の団体型企画講座の方で課題がございまして、令和 7 年度に募集要項を変えていくことになっております。

(事務局・センター長) 私からよろしいですか。29 ページをご覧いただきたいのですが、(16) SNS のより効果的な活用ということで、X を使って発信することが、増えてまいりました。令和 5 年度 19 件、まだまだですけども、公式 LINE 含め、令和 5 年度から意識して発信に努めているところです。同様に講座等もオンラインで行ったものもございましたので、そういったところが令和 5 年度の特徴と考えております。

(会 長) ありがとうございます。本日答申を仕上げていくにあたって間に合えば反映できればと思い伺いました。22 の項目にわたって丁寧にご検討されていると思います。

(B 委員) 潜在的な学習者に情報を届けるということということで、今までよりも多岐にわたった場所に配架をされて皆さんにお知らせしてくださっていることがよくわかります。私は「スマイルキッチン」で農園をお借りしているのですが、いい取り組みだと思っていまして、私も立川市内をよく歩きますが、置いてある場所の変化があることを実感いたします。ありがとうございます。

(会 長) ありがとうございます。この会議でも話題になっておりましたが、配架場所はいろんなところと連携してだいぶ広げてきていて、内容も充実しているという評価で、後はどうやって手に取ってもらうかというところでした。ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。(なし)

(会 長) では、後の協議事項で、関わることがありましたらご発言いただければと思います。A 委員ありがとうございます。

4. 協議事項

(1) 令和 6 年度第 6 回立川市生涯学習推進審議会 会議録について

(会 長) 事務局より説明をお願いします。

(事務局・管理係員) 資料の 2 です。事前に確認をお願いしておりまして、1 点ご意見をいただきましたが、審議内容には影響がございましたので、説明は割愛させていただきます。本日ご意見がないようでしたらご承認いただけたということで、ホームページに公開したいと思いますのでよろしくお願いいたします。

(会 長) ありがとうございます。何か追加の修正などございますでしょうか。(なし)

(2) 立川市第 7 次生涯学習推進計画策定に向けた答申案の検討について

(会 長) 事務局より説明をお願いします。

(事務局・管理係員) 資料 3 です。皆様に事前にご確認をお願いし、さらに会長に追記していただいているものですので、本日、初めてご覧になる文章の部分は特にご確認いただければと思います。可能であれば年内にご提出いただきたく、内容につきましては本日確定していただき、体裁の部分に修正があれば、後日整えて年内に完成させていただければと思います。よろしくお願いいたします。

(会 長) ありがとうございます。11 月の終わりくらいに一度、副会長とセンター長と管理係員と私で、皆さんにいただいたご意見を踏まえて検討させていただきまして、それを踏まえて私の方で文章にしました。一旦皆様にお送りいたしました、その後足りなかったところが発見されまして、お手元の資料はそこを修正したものになっています。今日はそこを含めて確認し合っていければと思います。資料 3 を見ながら進めていきます。1 ページ目は目次、2 ページ目は答申にあたって、ということで日付とタイトルを整えました。日付は今日の日付か市長にお渡しする日にするか、調整中ですので、今日以降のどこかになる予定です。

第 1 章をご覧ください。この部分は会議の中でご検討いただく時間はなかったので、事前にお送りした部分とアンケート結果の分析も加えて文章化しました。最初の段落は事実関係を整理している部分と総合的な目標が前計画から引き継いでいますということを書いています。次の段落が事前にお送りした後に追加した文章です。アンケートの主要なポイントを入れてあります。下から 3 段落目の「まず、」より下は施策の体系を追加したり修正したりしたので変更した点を羅列する感じでコンパクトにまとめてみました。最後の一文は、この間に市長部局への移管の話もありましたので、「独自の」とか「長期的な視野で」とかを足して、立川市の生涯学習の特徴を生かしながら市民と共に学びの場をつくっていくことが大事だということを最後に足しました。第 1 章のところはいかがでしょうか。

(C 委員) 第 2 段落を追加されたということですが、語尾がここだけ「だ・である調」になっているのでそこだけ修正が必要かと思います。

(会 長) ありがとうございます。事務局から言われていました。「です・ます調」に変更します。他にはございますか。

(D 委員) 「社会教育人材の育成」というのが読んだ方に伝わるのかなと思ったので下に注

釈があってもいいかと思います。

(会 長) 本編の文章の中で施策目標Ⅳの中には、社会教育人材とはこういう人だということが書いてあるのですが、言葉を少し足してもいいかもしれません。「～を担う」とか「～に関わる」など。後半のところでは「学習活動の企画運営を行う人材」などで表現しています。イメージとしては地域学習館運営協議会の委員さんや市民リーダーさん、市民推進委員さん、団体企画型講座の団体さんなどです。「市民として学びの場づくりに関わる」とか「様々な形で学びの支援に関わる」に続けて「社会教育人材の」とするとイメージしやすくなりますね。それでは、一旦先に進みます。

第2章の施策の体系では言葉遣いについて確認したいと思います。重点施策の2個目の「たちかわ市民交流大学とともに…」の「ともに」がひらがなで書いてあるのですが、漢字とひらがなが両方混じっています。立川市のルールですと名詞の後に来るときは漢字で、「～するとともに」の時はひらがなで書くというルールになっているようです。私たちの出す答申ではどちらにしてもかまわないと言われているのですが、気分で表記が変わっているのはよくないと思います。

(副会長) ここを漢字にしまうと直後に「共学」があるので同じ漢字が並んでしまうので、ひらがなの方がいいと思います。

(会 長) それでは「ともに」は基本的にはひらがなということにします。もう一つありまして、Ⅳ-2-①のところで「コーディネート力」と「コーディネート能力」という二つの表現が出てきているようでして、学習館のことを指すときは「コーディネート力」で、職員を指すときは「コーディネート能力」という使い分けをしているようにも見受けられるのですが、そこまで分ける必要はないかともいう気もしています。なので、「コーディネート力」という形で統一してしまってもよろしいでしょうか。

(E委員) コーディネートがカタカナなので「力(りょく)」がカタカナに見えてしまいそうですね。

(会 長) 確かに能力とすれば漢字ということがわかりやすいかもしれませんね。ただ、この流れではリョクと呼んでいただける気もするので、一旦「コーディネート力」とさせていただきたいと思います。同じところで今までは「計画的な育成・向上・研修体制の強化」と並んでいたのですが、どこが並列なのかわかりづらくて意味が通じづらいので、「育成・向上と」に直すのはどうかと事務局からご提案いただきました。いかがでしょうか。

(副会長) 確かに並列はおかしいですね。

(F委員) コーディネート力の「育成」という表現でいいのかなと思ひまして、育成という職員に対しては育成、コーディネート力に対しては向上とつながるような気がしました。

(会 長) ありがとうございます。コーディネート力を主語にするのであれば向上なのではないかということですね。

(D委員) コーディネート力は育成とは言わないと思います。

(副会長) そうすると「計画的な向上」となってしまうのもおかしいですね。

(会 長) 職員の計画的な育成とコーディネート力の向上と研修体制の強化の 3 つがここに入ってしまったので整理する必要があるということですね。「職員のコーディネート力の向上と研修体制の強化」か「職員のコーディネート力の向上と計画的な育成」にするかですかね。

(D 委員) 「研修体制の強化」が入っていた方がいいですよ。

(副会長) それは入れていただいた方がいいです。

(会 長) それでは、「職員のコーディネート力の向上と研修体制の強化」ですね。

(F 委員) いいと思います。

(D 委員) 研修体制の強化の中に計画的な育成も入っているということでよろしいでしょうか。

(会 長) そのような解釈でいいと思います。

(C 委員) 第 1 章のところや施策の体系で、「ネットワークを進める」とか「ネットワーク支援」という言葉が出てくるのですが、ネットワークは名詞なので「ネットワーク化する」なら意味は通じると思います。今の書き方だと違和感があります。

(会 長) それでは、「社会教育人材の育成を積極的に進め、ネットワーク化していく」という感じですか。もしくは「ネットワークを広げる」ですかね。

(C 委員) そういう方が自然だと思います。

(会 長) それではそうしましょう。これで体系の第 2 章は整ったかと思います。第 3 章は前回も検討して、皆さんのご意見を反映して修正していると思います。第 4 章の施策目標Ⅰは皆さんの意見を踏まえて修正をしてあります。施策目標Ⅰ-2-②のところは前回より一つ論点を加えています。庁内調整委員会を開催していないという話を副会長と事務局との打ち合わせの中でお聞きしたので、他部署との連携が重要ということはこの会議でも何回も出てきている話題ですが、その役割を果たすはずの庁内調整委員会が実際には開催されていないのはギャップがあると感じましたので、「今後の在り方について検討することが喫緊の課題です」という形にしました。施策目標Ⅱのところでは施設のことがあまり書いてなかったので足しています。それから施策目標Ⅱ-1-①のところですが、プレスリリースや他のメディアを活用できるのではないかとのご意見がありましたので足しています。続いて学習相談体制の充実のところでは、前回のご意見を踏まえて文章を足しているところがあります。施策目標Ⅲの 6 行くらいの文章は前回お送りしたときになくて、ほかの施策目標の下には記載があるのにここにはないことに事務局にチェックしていただいたときに気が付きまして、本日追加しました。

(C 委員) 少し戻ってしまうのですが、9 ページの②の学習相談体制の充実のところ、真ん中らへんに「学習相談の対応に AI (人工知能)」とあるのですが、漢字が違います。

(会 長) ありがとうございます。チェックをかいくぐってしまいましたね。

(副会長) 私も戻ってしまうのですが、施策目標Ⅱのすぐ下の文章で「すべての市民の主体的な学びのためには」とあるのですが、「すべての市民が主体的に学ぶためには」の方がいいと思います。それと同じページの①では「広報たちかわやたちかわ市民交流大学」とひらがなが続いています。その直後のきらり・たちかわにはかつ

こがついているので、広報たちかわにもかっこをつける方が伝わりやすいと思います。

(会 長) ありがとうございます。何度見ても修正点が出てきてしまいますね。

(E 委員) 施策目標Ⅲの下から 2 行目のところに「市民一人ひとりと、つながりと、地域とともに育む視点をもって」とありますが、市民一人ひとりと、つながりとの部分がよくわかりません。

(会 長) 意図としましては、人づくり、つながりづくり、地域づくりという生涯学習がどこを目指していくのかというところで、個々人の自己実現も目指していくし、つながりもつくるし、地域づくりもしていくということを短い言葉で書こうとして、わけがわからない文章になってしまいました。F 委員にいい言い方がないか会議の直前に聞いてみたところです。

(F 委員) 今悩んでいます。

(会 長) イメージは共有できていると思うのですが、短い言葉で表現しようと思うと難しいですね。いい案が出てくるまで先に進めていきます。13 ページの施策目標Ⅳの施策の方向 1 の 6 行くらいが、こちらも書いていなかったのが記載しています。この部分で何かございますか。

(副会長) 2 つ目の文章がすごく長くなってしまっているの、「創出されてきました」で一度切ってしまった方がいいと思います。

(会 長) ありがとうございます。

(B 委員) 今の文章の最後の「育成が不可欠です。これは」とありますが、「これらは」の方がいいと思います。最初のところの「鍵となるのは…団体・組織です。」というのと「育成が不可欠」ということを合わせて「これら」がいいと思います。

(会 長) ありがとうございます。14 ページの②では「地域の担い手の育成とネットワーク支援」となっていますね。施策目標のところではネットワークで切れています。

(C 委員) ネットワーク支援となるとよくわからない文章になってしまいます。

(会 長) ネットワークの拡大とかはどうですか。

(C 委員) 強化はどうですか。

(E 委員) ネットワーク化するのを支援するということですか。

(会 長) 「ネットワーク化」もしくは「ネットワークの強化」でしょうか。

(E 委員) 本文の中にはネットワークのことが出てこないですね。

(会 長) それは本文が問題ですね。

(E 委員) すでにネットワークがあるのであれば強化でしよし、これからネットワーク化するということであればネットワーク化でいいと思います。

(A 委員) ネットワーク化の拡充はどうでしょうか。

(副会長) E 委員の言うようにネットワークに入れていない人がいるので、ネットワーク化の支援することが大事だと記載されているかどうかだと思うのですがどうでしょうか。

(会 長) 「地域の担い手の育成とネットワーク化の支援」ですかね。

(G 委員) 地域学習館の活動で、他館とのネットワークができることで人材の確保が幅広く行うことができるようになりますね。ネットワークというと学習館だけでなく

外部の人たちともつながって、人材が確保できて、学びにつながっていく。何かの事業をするにしても地域から探す部分だけでは足りないので、人材バンクのような外とつながりがあって、それを生かせるネットワークだと考えるとネットワーク化の支援なのかなと思います。

(会 長)「活動している人同士をつなげたり、他の地域で同じような活動をしている人々と情報交換や交流をしたり、学び合ったりするようなネットワークをつくる場や機会をより充実してください」のようなことを足すということですね。

(E 委員) ①の社会教育人材・団体・組織との協働で2行目の一番最後から「ネットワークを生かした社会教育人材の把握・活用が行われてきました。」とあって、その2行下に「多様なネットワークを構築していくことが望まれます」とあって、ネットワークという言葉自体はここにでてきているので、それを生かして②で地域の担い手の方々のネットワーク化をしていけるような支援だいいと思います。

(会 長) ①では青少健とか自治会とか既存のネットワークという話だと思います。②はG委員の言っていた地域を超えてとか、テーマを超えて拡張的というか越境的なとか新たなネットワークという話かと思います。

(D 委員) 新たに立川に引っ越してきた人たちもですね。

(会 長) 長年住んでいる人たちだけではなくですね。この場でスマートな文章を作るのは難しいので引き取らせていただきます。タイトルの方は「ネットワーク化の支援」にして体系の方も揃えます。ところでF委員いかがでしょうか。

(F 委員) 最初の目的のところも少し変わってしまっても大丈夫ですか。

(会 長) 一旦お聞きしてから考えましょう。

(F 委員)「生涯学習の推進は、市民一人ひとりの生涯にわたる成長と自己実現や生きがいといったいきいきとした暮らしの実現のためであると同時に、学びを通じて人と人がつながり、地域に愛着を持ち、地域を共に育むという重要な目的があります。そのためには、市民の主体的で共同的な学びが豊かに行われるよう事業の企画や実施にあたっては人づくり、つながりづくり、地域づくりを意識して取り組んでください。」

(会 長) ありがとうございます。だいぶ短くなりましたね。メモしきれなかったので事務局に渡していただければと思います。

(E 委員)「立川ならではの特徴や魅力を知り」の部分が省かれているのですね。

(F 委員) 悩んだ部分だったのですが省いてしまいました。

(会 長) その部分は文化財の内容にかけて書いたつもりです。

(E 委員) 立川市民科においては立川ならではの特徴という部分は重要な表現ですね。

(F 委員) それではどこかに入れておきます。

(会 長) ありがとうございます。F委員のシンプルな案に「立川ならではの」の部分は入れていただくということでよろしいですね。その他のところでありますか。

(G 委員) 前に戻ってしまうのですが、5 ページの地域学習館の機能強化のところで、下から2行目に「福祉や子育て支援の療育など」とあって、療育というと専門的な表現になるので、これはどの程度のことを言っているのかと思いました。

(会 長) こちらは誤字です。「領域」ですね。教育以外の分野の話の中で領域の話をした

かったんだと思います。ありがとうございます。意味が違うものになってしまいますね。

(B 委員) 9 ページの②の学習相談体制の充実の最初の部分なのですが、「ため」という言葉で並列になっているのですが、意図がなければ「一步踏み出すためには、学びの仲間を探し、学びをさらに広げ、学習相談が気軽にできる環境をつくることが重要です」という流れにしたらどうかと思いました。

(会 長) これからやろうという人もいれば、今やっていて仲間を探している人もいれば、すでにいろいろやっているけど活動の幅を広げていきたいという人たちがいて、学習相談といっても色々な種類があるということを表現したかったので、並列的な表現しています。

(B 委員) 並列でいいのですね。そうであれば並列にしていることがわかるようにできるといいなと思いました。例えば、学習相談の前に「それぞれの学習相談が気軽にできる…」とか、「一步踏み出すこと」のような並列にしたり、それぞれがという視点がわかるようにした方がいいと思います。

(C 委員) 並列というよりは事例を出しているだけですね。

(会 長) いろいろなプロセスで学習相談が必要という意味を、例えばという形で書いています。様々な目的で学習相談が気軽にという意味です。

(C 委員) そういうことであれば、「ため」の後に「など」と入れればいいのではないでしょうか。

(会 長) 学習相談の前に「など様々な目的に合わせた」を入れるとよりわかりやすいですか。

(B 委員) そうですね。

(会 長) ありがとうございます。

(A 委員) 8 ページの一番上のところで、先ほどご説明をいただいているのですが、庁内調整委員会が開催されていないことが大きな問題ですというご指摘をいただきました。庁内調整委員会を開催していないのは確かなので、生涯審の答申としてご指摘をいただくことは当然のことかもしれませんが、市民交流大学の企画運営委員会としては、開催していないけれども設置はしており、庁内の連携・調整は生涯学習推進センターを中心に行っています。そのため、庁内調整委員会という会議を開いていないだけということになりますので、大きな問題は起こっていないという認識です。

(会 長) 私が勝手に大きな問題にしてしまっただけなのでトーンを少し下げた方がいいですね。

(A 委員) このようなご指摘をいただくと廃止しようかという話になってしまうような気がします。

(会 長) 本来であれば年に 1 回でも顔を合わせる場を設けるという目的があったと思いますので、やらなくても調整ができているということであれば、どこかで区切りをつけた方がいいと思いますし、やはりないと困るということになるのであればやり方を考えなければいけないと思います。それでは、「ここ数年、庁内調整委員会が開催されていませんが、たちかわ市民交流大学の設置趣旨と照らし、これま

での成果と課題を分析した上で、今後のあり方について検討することが課題です。」はいかがでしょうか。

(A委員) いいと思います。

(会 長) 課題意識は残しつつも頭ごなしな表現は避けてみました。

(事務局・センター長) 庁内調整委員会はコロナ禍になる前からやっていないと聞いているのですが、子育て施策だと補助金をもらったり、日程が被らないように分野ごとに調整を行っています。ただし、全体での調整はできていないかと思います。

(会 長) この問題はどの自治体でも難しいことだと思いますが、とても大事なことだと思います。調整だけでも難しいと思いますが、連携・協働まで進められるとより良いはずで、市民交流大学が作られた当初は大きな三本柱として作られていたもので、あり方を見直すならいいタイミングかもしれません。

(事務局・センター長) これを契機にシルバー大学との関連もあるので検討したいと思います。

(会 長) ほかにございますか(なし)。内容の検討は以上とさせていただきます、内容をご承認いただけたということにさせていただきます。宿題として、議論した内容を盛り込んで修正することになりましたので、細かい部分は正副会長と事務局に一任いただいて提出するまでの作業をさせていただければと思います。提出した後は完成版を皆様とも共有させていただければと思います。本来であれば、一年かけて検討すべきところでしたが、半分以下の短い期間で検討することができました。ありがとうございました。

5. その他

(1) 令和6年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会について(共有)

(会 長) 14日の土曜日に開催されました。C委員と私が出席してきたのでC委員からお願いします。

(C委員) (報告を求められると) 厳しいですね。というのも遅れて参加して、早上がりをしました。倉持会長の清瀬市の発表は聞けたのですが、第2部の生涯学習と学校教育の連携について、パネルディスカッションの前の発表の部分までは聞くことができました。立川市ではあまりない事例が一点ありまして、町田市 of 取組なのですが学校側から生涯学習サイドに依頼があったという点です。立川市の場合、学校の立川市民科はポピュラーになっていて各学校で実施されていますが、学社一体という点では地域学校コーディネーターとの交流を含めて、課題があると個人的には認識をしています。町田市では学校から相談があつて解決につながったという話が多くて、もしかするとそこに注力をして、積極的に協働しなさいということになっているのかもしれないと感じました。立川市の学校の立川市民科は定着し、生涯学習も広がりを見せている中で、協働できるものが立川市の中にも出てきているという段階にあるかと思います。ただ、町田市に比べると遅れているという感想を持ちました。

(会 長) ありがとうございます。私は清瀬市の議長として参加したので第4ブロックの

研修会の報告をしてきました。今回どのブロックの研修もとても充実していて、質問も出たりして面白そうな中身だと思いました。第 3 ブロックでは改築されたばかりの図書館の見学も含めて実施したようです。報告者は見学だけではなく交流の機会をとという話をされていたのですが、質疑応答では図書館のような社会教育施設も学びの場として捉えられているのはいいですねというご意見がありました。後半は事務局と今日のための打合せに費やしてしまいました。何かご質問等ありますか（なし）。センター長から何かあると聞いておりますのでお願いします。

（事務局・センター長）第 7 次生涯学習推進計画骨子案について、A4 横版のものでございますが、13 日の金曜日に文教委員会で報告した内容になります。Ⅰ計画の概要、Ⅱ成果と課題、Ⅲ次期計画の方向性、Ⅳ次期計画の骨子案となっています。情報が少ないのでもう少し書きたかったのですが、これらの内容を一枚にまとめなければならず、成果と課題は人材育成の関係も書きたかったのですが、スペースの関係でこのようになっています。Ⅳ次期計画の骨子案は答申を受けて、第 1 章から資料までこのような構成で考えておりますので、2 月の審議会では素案をお示しすることができるかと思います。皆様には一度ご確認いただいている内容となります。議員さんからもこのことについて質問はございませんでした。続いて 2 枚目の生涯学習社会の実現の紙です。長期総合計画には施策が並んでいて、施策 44 が生涯学習推進センターで行う事業内容を一つのキーワードとして、「生涯学習社会の実現」ということでまとめています。こちらが長期総合計画に掲載されるのですが、基本事業の 5 つは係に対応しています。具体的には、1 生涯学習施策の推進が管理係、2 市民の自主的な学習活動支援や生涯学習情報の提供が生涯学習係、3 連携・協働による学習機会の提供が市民交流大学係、4 学習の場と機会の提供が地域学習館の 6 つの係、5 文化財の継承が文化財係です。市全体として係ごとに基本事業を設ける仕組みにしています。その下は成果指標ということで数値目標を定めて設定しています。残りは各自ご確認いただければと思います。以上が一点目のご報告です。

二点目は移管の話です。生涯学習推進センターが残り、図書館は移管するという話を前回まででお伝えしていましたが、11 月末の議会の一般質問で、市長から図書館も移管はしないという答弁がございました。様々な声を聞いた上で無理やり移管することはせず、教育委員会に残る旨のご発言がありました。

最後になりますが、こちら 13 日の文教委員会でお配りした内容のものになります。高松学習館が入っている健康会館は健康推進課が管理していますが、来年 5 月になりますと、旧庁舎があった場所に子育て支援と保健センターの整備ということで機能が移転します。抜けた後は高松学習館が建物を管理しますという内容でございます。令和 10 年までの 3 年間は生涯学習推進センターが管理するのですが、健康会館の跡地は暫定利用ということで文書の保管場所等で行政利用する予定となっております。それ以外の跡地の利活用を改革推進課が調整しているところでございます。3 階につきましてはそのまま引き続き残ることとなっております。12 月 10 日に総務委員会で報告がございまして、健康会館の外壁を打診検査をいたしました。古い施設ということもあり実施した結果、劣化の度合いがわかりまし

て、コーンで建物周囲全体を立ち入り禁止エリアにしています。すぐに落下するわけではないのですが地震があったり、寒暖差が激しかったり、雨が入り込むとタイルが落下する可能性があるということで、周知・啓発をしているところでございます。令和 7 年 3 月までに剥落防止工事を行う予算を計上して、夏ごろに工事を行う予定としています。騒音も発生するので休館することも検討しています。どのような工事になるのかまだわかりませんので、休館が長引いたり、騒音が出たりする可能性があるかもしれないということでご報告させていただきました。

(会 長) ありがとうございます。何かご質問等ございますか。

(C 委員) まず図書館についてなのですが、以前のご報告では、図書館の会議体は賛成の立場だったと思うのですが、そこでの意見はどうなってしまったのでしょうか。

(事務局・センター長) 厳密に申し上げますと、賛成の意見もあったのですが、その会議の後に、一部の方が賛成と捉えていなかったということで意見書を提出されました。市としては賛成と受け取ったのですが、その場で発言できなかった方がいたり、ある団体から選出されている方の選出元の団体の方で問題視されて、直接市長に意見書を提出されたそうです。議会で議員からもう少しじっくり考えるようにという発言がありました。議会の場でもありましたし、申し入れもあったようです。そのような経過があった上で市長が判断したということだと思います。

(C 委員) 会議での結論が何かの理由でひっくり返されたのかと思ったのですが、その会議に出ていた人からの意見なのですね。続いて高松学習館の件なのですが、先日は運営協議会で直接ご説明いただきありがとうございました。その時は 6 月くらいと話をされていて、この時期は「たかまつり文化祭」と重なるので、体験教室の時期を前倒しにして時期をずらしましょうということになっていました。それが今のご説明では夏ということでしたので、おまつりもそうですが、ひと涼みスポットがなくなるということで行事的なものだけではなく、施設的なものもなくなるという話になりますか。

(事務局・センター長) たかまつりは何とかできる方向で考えていますが、緊急度も高いので早期に対応すべきだと理事者からも指示を受けています。一方で利用者もいるので、例えば土日は工事をしないようにするとか、夜間は貸し出しを開放するとか、そういった方向も検討しているところでございます。

(C 委員) わかりました。

(事務局・センター長) 決まり次第お伝えしたいと思います。

(会 長) ほかにご質問等ございますでしょうか。(なし)

(2) 次回の開催場所について

(会 長) 次回の会議場所について協議が必要とのことで事務局より説明をお願いします。

(事務局・管理係員) 事務局で決めてしまってもよかったのですが、本庁の会議室が空いていないのと、アイムも LED 工事が終わっていないので、どこか学習館で、と考えていました。昨年は中規模改修工事が終わった錦学習館を見に行ったと思いますが、今回はアクセスを考えて柴崎学習館か、中規模改修工事が終わった西砂学習館のどちらかで開催するのはどうかと思ひまして、皆様のご意見を聞いて決め

たいと思います。ただし、現地集合にさせていただきたいと思いますのでアクセスのことも考えて、決めていただければと思います。西砂学習館も西武立川駅からは近くなりましたが西武線に乗っていただくということになりますので、どちらがいかご検討ください。

(E 委員) 新しい道ができたので近くなりましたね。

(会 長) 柴崎学習館か西砂学習館であれば場所が確保できるということで、今回は 2 月 21 日です。自分で行くことが前提にありますけどどちらがよろしいでしょうか。

(E 委員) 西砂学習館は駐車場が使えます。

(D 委員) 柴崎学習館は難しいですね。

(C 委員) 新しい道もできたということでせっかくなので。

(会 長) 柴崎は行く機会があるのですが、西砂はこういう機会がないと中々行けないのでいい機会かもしれません。

(G 委員) 何か準備しておくものはありますか。

(事務局・管理係員) 特にありません。部屋は学習館の係長に聞いて押さえてありますので、時間があれば館内見学も実施したいと思っております。

(副会長) 西砂という流れですね。

(会 長) それでは、西砂学習館をお願いします。

(C 委員) その日予定が入るかもしれません。申し訳ありません。

(会 長) それ以外で何かございますか。

(F 委員) とうきょうの地域教育の No.153 が出ました。今回、子どもたちの豊かな出会いと学びをということで、体験活動や学習支援の機会としての放課後子供教室と地域未来塾というのを地域学校協働活動の一つとして取り組んでいます。地域コーディネーターさんの言葉が印象的だと思ったのでそのまま載せていたり、学習の場ではあるものの居場所をつくることの大事さなども書かれています。放課後子供教室は朝の居場所づくりを始めている八王子市の事例や、特別支援学校の大塚ろう学校での放課後子供教室で、どのような体験活動がどのように展開されているかを取材していますので、ぜひご覧ください。

(会 長) ありがとうございます。

(H 委員) 皆さんにお配りしている防災講座のチラシですが、1 月 11 日に行いますのでぜひお越しください。

(会 長) ありがとうございます。12 月 6 日に生涯学習関係職員研修会を錦学習館で東京学芸大学との共催という形で行いました。ご参加いただいた皆さんありがとうございました。合わせて 60 人弱で講堂がいっぱいになるくらいの方がお越しになりました。立川市からも市民推進員さんやサポーターさん、地運協の委員さん、生涯審の委員さん、市民リーダーさん、市の職員さんが参加して、学芸大の講座からも近隣市の職員さんとか市民の方も参加していただきました。8 日は錦学習館でプレ錦まつり、14 日にかわせみカフェがありまして学芸大との連携で、運営や見に来ていただいた皆様ありがとうございました。プレ錦まつりで講堂でグーグルマップを使って防災すごろくをやったのですが、何回か Wi-Fi が落ちたらしくて、4 台くらいグーグルマップをつなげて実際の写真を進めていくユニークな企画だ

ったのですが、インターネットにつながっていることが前提で、ネットが落ちてしまって学生がパニックになっていることを聞きました。そんなに弱いのかと思って学習館の職員に聞いたら、オンラインの講座でも調子が悪いことがあったと聞いて、他の学習館ではどうなのかなと思いました。

(C 委員) 実際にグーグルマップのすごろくに参加していたのですが、デバイスの状況からするとネットワークはつながっているのですが、WAN 側のインターネット側に出ていない状況でした。ローカルエリアの中では通信はできているのですが、外部からデータを取得しようとするアクセスできませんと出てしまう状況でした。結局、学生さんのテザリングで接続して行っていました。

(会 長) 学生たちは良かれと思ってやっているのですが、授業としてはどうなのかというのがあります。

(事務局・センター長) 調べてみます。

(C 委員) 学供施設にも導入されますよね。さかえ会館で1 月半ばということをお聞きしたのですが全体に影響する話でなければいいなと思います。

(事務局・センター長) 学供に入れるのと合わせて、学習館も増設します。

(事務局・管理係員) 柴崎以外は1 台、柴崎は4 台増えます。

(C 委員) アクセスポイントが増えるということですか。

(事務局・センター長) そうです。

(会 長) それでは継続課題ということでご対応をお願いします。他に何かございますか。

(なし) 次回の会議は2 月21 日です。今年の会議はこれで最後になります。本日はありがとうございました。